

登録コード	E9082100	開講年度	2026		
授業科目	特別支援教育ゼミナール				担当教員 下山 真衣
英文授業名	Introductory Seminar for Special Needs Education				副担当 宮地 弘一郎・楠見 友輔
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・5時限
講義室	共通教育 4 0 講義室	授業形態	演習	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	非該当	備考	特別支援教育コース		
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ				
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				特別支援教育に関わる教員の使命について学び、必要な倫理観を身につける
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				大学で学ぶための態度とスキル、障害に関する基本的知識を身につける
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働				
(3)全学横断特別教育プログラム					
(4)授業の概要	本授業は専門分野（特別支援教育）の予備的講義と実習を通して、新入生全員が以下の目標に到達できることを目的とする。 【到達目標】 1. わが国の特別支援教育の現状と課題を知る。 2. 障害とは何か、障害のある子どもたちの支援に必要なことは何かについて考え、理解する 3. 教育学部における特別支援学校教員養成の目的と特徴を知り、卒業までの学習目標と履修計画を立てる。 4. 障害のある子どもたちの放課後支援活動に参加し、障害特性と個別ニーズに応じた具体的な指導・支援を経験する。 5. 学生同士のコミュニケーション能力、チームワーク力を高める。 【授業の実施方法】 授業は次のように実施する。 ・到達目標の1～3に関わる講義を、特別支援教育コースの教員3名がリレー形式で行う。 ・到達目標の4と5を達成できるように、学生は6～7月の水曜に附属特別支援学校で行われる放課後支援活動に参加する。 ・それぞれの活動の成果をレポートとして提出する。				
(5)授業計画	第1回ガイダンス 第2回こころの健康・大学生活のリスク対策【@オンデマンド】 第3回情報セキュリティガイダンス【@オンデマンド】 第4回図書館利用ガイダンス【@中央図書館2階セミナー室】 第5回【講義】特別支援教育の現状と課題 その1 障害と発達 第6回【講義】特別支援教育の現状と課題 その2特別支援教育 第7回【講義】特別支援教育の現状と課題 その3自律と自己実現 第8回【講義】特別支援教育の現状と課題 その4インクルーシブ教育 第9回【講義】特別支援教育の現状分析 その1レポート作成 第10回【講義】特別支援教育の現状分析 その2パワーポイント作成 第11回【講義】特別支援教育の現状分析 その3プレゼンテーション 第12回【講義】げんきクラブ見学 第13回【実習】げんきクラブ参加 第14回【実習】障害児の放課後支援1 6 7月 小学部の活動 第15回【実習】障害児の放課後支援2 6 7月 中学部・高等部の活動 /授業アンケート * 授業日程は初回に伝える * 実習に関わる日程、費用（交通費）等の詳細は5月下旬までに授業で伝える。				
(6)成績評価の方法	各担当教員からのレポート課題（レポート#1）および実習課題（レポート#2）の成績を総合し、以下の基準により段階評価する。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。				
(7)成績評価の基準	レポートの内容において、レポート#1では本授業の到達目標（1-3）について、レポート#2では到達目標（4と5）に関して評価を行う。評価基準は次のとおりである。 (i) 問題の設定が適切で、その背景を説明できており、問題の課題を指摘できている。 (ii) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法を適切に把握できている。 (iii) 自分の見解を提示できている。 (iv) 教員を感心させるレベルにある。 「卓越している（秀）」…(i)～(iv)を達成している。 「かなり上にある（優）」…(i)～(iii)を達成している。 「やや上にある（良）」…(i)～(ii)を達成している。 「水準にある（可）」…(i)を達成している。				
(8)事前事後学習の内容	それぞれの授業時間で取り扱う内容について、前時間にレポート課題を事前学習として課す。該当授業の終了後に、提出したレポートの修正及び追加課題の作成を事後学習として課す。				

(8)事前事後学習の内容	この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。
(9)履修上の注意	1. レポート提出に不可欠なメール送受信など、学内情報システムの利用に関する事柄、注意事項等については本授業の一環として別途指導する。 2. 卒業までの学習目標や履修計画を立てるためには大学が提供する授業（本授業もその一つ）だけでなく、学外の教育実践や障害児・者支援に関わる自主的活動の経験が大いに役に立つ。
(10)質問，相談への対応及び連絡先	専任教員 3 名は西長野キャンパスに勤務しているため、大学での学習、生活等に関する質問や相談がある場合は授業終了後に担当者が随時対応する。急ぎの場合はメールまたは研究室直通電話で連絡すること。 < 連絡先 > 宮地 TEL.026-238-4201 MAIL : miyaji@shinshu-u.ac.jp 下山 TEL.026-238-4205 MAIL : mshimoyama@shinshu-u.ac.jp 楠見 TEL.026-238-4202 MAIL : kusumi@shinshu-u.ac.jp
【教科書】	指定しない 必要に応じて授業中に教示する。
【参考文献】	指定しない 必要に応じて授業中に教示する。